

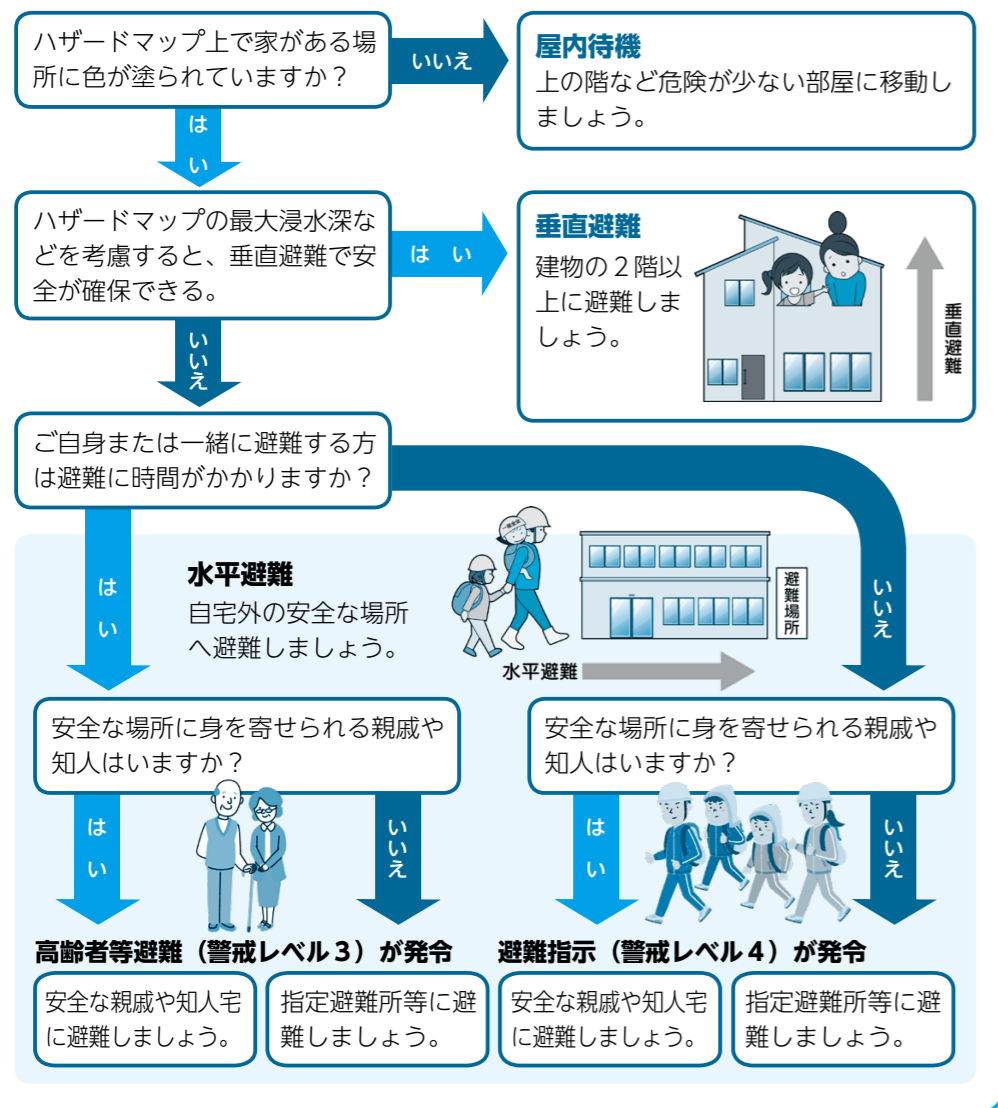
9月1日は防災の日

災害はいつ起こるかわかりません。
日ごろから大きな災害に備えて行動しましょう！

避難の判断ポイント ~風水害から命を守るために~

台風や大雨の際、避難するか迷ったことはありませんか？
風水害は事前に予測できるので、事前に避難の必要性を判断し、避難計画を立てておきましょう。
ハザードマップを確認して、避難のポイントを確認しましょう。

避難行動判定フロー



ハザードマップの確認はこちらから

大磯町津波・高潮
ハザードマップ



大磯町土砂災害・洪水
ハザードマップ



おいそ
オンラインマップ



ハザードマップで
しっかり確認！



緊急安全確保 (警戒レベル5)

町から「緊急安全確保」が発令された場合は、すでに災害が発生している状況または災害の発生が切迫している状況です。

とるべき行動

- ・周囲の状況を確認し、避難場所までの移動が危険な場合は、近くの頑丈な建物に避難する。
- ・外に出るのがすでに危険な場合は、建物の2階以上や崖の反対側など、少しでも安全な場所で**命が助かる行動**をとる。

「避難指示」までに確実に避難完了



避難行動を事前に
チェック！



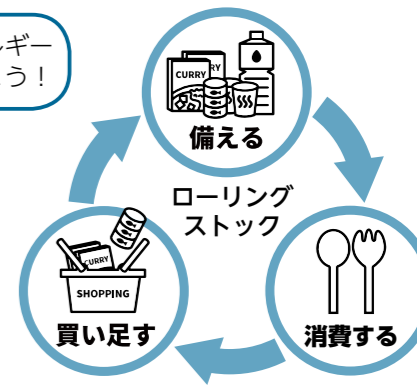
今年には1923年9月1日に発生した関東大震災から100年の節目に当たります。また、この日は「防災の日」として定め、地震、津波、風水害等の災害についての認識を深めるなど、災害発生時の対応について考える日に位置づけています。
この機会に災害に対する備えを確認しましょう。

避難生活に備えよう！

非常用持出品のチェックをしよう！

大規模な災害が発生した場合はライフラインが止まってしまう可能性があります。
家族構成などに応じて、災害時に必要な食料や生活用品などを普段から備えておきましょう。
機器の動作確認や食べ物の消費期限のチェックも忘れずに！

避難の備蓄は必要最低限に！持病の薬やアレルギー対応食など命にかかわる必需品を優先しましょう！



家族との連絡方法を確認しよう！

電話が使えないことも想定されます。家族が離れ離れのときに災害が発生した場合に備えて、災害用伝言ダイヤルなど、連絡方法をあらかじめ決めておきましょう。

災害用伝言板



携帯電話・スマートフォンの
災害用伝言版

災害用伝言ダイヤル

避難所での生活をイメージしよう！

どんなところに避難するの？

災害により被害を受けるおそれがある場合や被害があった際には、避難所に避難しましょう。
避難所には一時的に身を寄せる地域会館などの「指定緊急避難場所」と、災害が長期化した際に滞在する場所として、学校が「指定避難所」に指定されています。



避難者が共同で生活する場です！

被害の状況により、避難所生活が長期化することも想定されます。
避難所は、自治会、自主防災組織などが中心となって運営します。1日も早く以前の生活に戻ることを目指して、避難者同士も協力しながら日常生活を過ごします。



みんなで支え合いましょう！

避難所生活では、避難者同士の助け合いが大切です。
避難者の中には高齢者、障がい者、乳幼児や妊婦など、特に配慮や支援が必要な方もいます。
日ごろから地域のコミュニティなどを通じて、協力の輪を広げることで、いざというときに助け合える体制づくりにつながります。

